



盛岡市上下水道局職員インタビュー



| | |
|------|----------|
| 所属 | 水道建設課 |
| 職員名 | 根橋 技師 |
| 入庁年度 | 平成 29 年度 |
| 職種区分 | 土木技術職 |

※所属は令和4年4月1日時点です。

Q1：採用から現在までの所属は？

平成 29 年度～令和元年度 建設部道路管理課
令和2年度～ 上下水道局水道建設課

Q2：現在の担当業務とやりがいは？

古い水道管を地震に強い水道管に入れ替える工事の設計業務と工事監督業務を担当しています。設計業務では、施工手順や将来的な維持管理のことも考えながら、一から図面を描いていくことが面白いと感じています。監督業務では、現場作業をすることも多いですが、女性技師でもできる範囲のものです。工事を発注して終わりではなく、現場で業者の方と一緒に工事を進めていくことが、やりがいを感じます。



Q3：職場の雰囲気は？

忙しい時はお互い様で助け合う雰囲気、分からないことは聞きやすい雰囲気があり、一人で困ることがないところが良いなと思っています。土木系の職場なので、女性の割合は少ないですが、少ないからこそ皆さんとても優しくしてくれます。

Q4：学生の時に力を入れていたことは？

部活動などではないのですが、アルバイトをしてお金を貯め、青春 18 切符や格安航空券を駆使して、大学の友人達と各地にたくさん旅行をしました。時間のある学生時代にしかできないことだったので、やっておいて良かったと思っています。ただ、入庁後も思っていたよりも休みがとりやすく、年次休暇や夏季休暇を利用して、学生時代の友人達と旅行に行ったりリフレッシュしています。コロナ禍で制限されていた分、またこれから徐々に動き出せるのがとても楽しみです。

Q5：盛岡市を志望した理由は？

遠距離の転勤がないこと、また、学科の先輩だった市職員などの話を聞いて、女性が働き続けやすそうと感じたことが決め手となり志望しました。

Q6：入庁前と入庁後での、職場へのイメージの変化は？

公務員というとお堅い、真面目でつまらなそう、というイメージがありましたが、実際に入庁してみると、面白い、いろいろな方がいるなど感じています。コロナ禍で難しい時期もありましたが、仕事以外の時間でもフットサルをしたり、飲みに行ったりと職場の皆さんと楽しく過ごしており、周りに恵まれたことに感謝しています。

Q7：今までの仕事で印象に残っているエピソードは？

採用1年目の頃、2月から3月にかけて発生した、大雪と雪が溶けた後の道路の穴ぼこ多発時の対応が印象に残っています。右も左も分からない中で、除雪や舗装補修をする業者の人手が足りない、アスファルト合材の出荷が追い付かない、市民からの電話が止まらない、という状況を経験しました。その経験によって「緊急時こそ、落ち着いて職場内で情報共有し、優先順位を考えて行動する力」がついたと思っています。また、自分の仕事がいかに市民の皆様のご日常生活にリアルタイムで関わっているのかを実感し、より一層責任を持って業務に取り組まなければならないということを決意するきっかけになりました。

Q8：とある1日のスケジュール

| | |
|-------|-----------|
| 8：30 | 始業、設計図面作成 |
| 11：00 | 業者打ち合わせ |
| 12：00 | 昼休み |
| 13：00 | 現場作業 |
| 16：00 | 作業報告書作成 |
| 17：15 | 終業 |



Q9：モットー（仕事の上で大切にしていること）は？

『工事の設計はいつでも自分の家を設計する気持ちで！』

これは道路管理課時代の先輩の言葉です。先輩もそのまた先輩から聞いて心に残った言葉だったそうですが、私も忙しい時こそ、この言葉を思い出して大切にしていきたいです。

Q10：盛岡市上下水道局で働くことの魅力は？

皆さんの生活に欠かせない上下水道を支える仕事は、とてもやりがいを感じます。また、研修が充実しているので、様々な技術を身に着けることができることも魅力だと思います。

Q11：未来の後輩に一言！

土木職というと、「汚そう」、「力仕事が大変そう」といったイメージがあるかと思いますが、実際には計画をしたり、設計をしたり、検査をしたりと女性でも活躍できる場面は多くあると感じています。仕事の成果が目に見えやすい職種なので、やりがいも感じられると思います。皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています！

